

# 諏訪湖環境研究センターの概要



## 諏訪湖の諸元

流域面積: 531.2km<sup>2</sup>  
 湖面積: 13.3km<sup>2</sup>(周囲15.9km)  
 水深: 最大7.2m、平均4.7m  
 流入河川: 31河川 流出: 1河川  
 総貯水量: 約6,300万m<sup>3</sup>  
 流入水量: 年平均159万トン/日  
 滞留時間: 約46日('12~'16年-タ)



センター建物 ZEB Ready 認証取得



センター屋上からの諏訪湖

## 設立の経緯 ①

### 背景

- 県内の河川・湖沼の水質は、下水道の普及等により長期的には改善が進んでおり、河川の水環境基準達成率は95.7%と概ね良好だが、**湖沼は46.7%と低い状況**（令和4年度）
- 県内最大の湖である諏訪湖については、近年ヒシの大量繁茂や湖底の貧酸素の拡大、漁獲量減少など、**生態系の保全・回復に向けた複雑な課題に直面**

### 諏訪湖創生ビジョン策定

- ・ H29年度、諏訪地域にて、湖沼水質保全計画を盛り込んだ『諏訪湖創生ビジョン』策定に向け議論
- ・ H30年3月策定

・ 調査研究を行っている機関の連携  
・ 情報発信、環境学習を推進する拠点整備

必要!

ビジョンに**諏訪湖環境  
研究センター(仮称)の設  
置の検討が明記**



H30.3策定

## 設立の経緯 ②

### 諏訪湖環境研究センター（仮称）あり方検討会

H30、R元年度、15名の委員（有識者、湖周市町職員、県関係機関）により延べ7回開催

#### 目指す姿

- 課題の多い諏訪湖を中心に、県内河川・湖沼の水環境保全に向け、実態把握と課題解決のための研究機能に重点を置く
- 県内河川・湖沼等の水環境保全に関する情報発信の拠点とする
- 地域に根ざし、住民の学びを幅広く支援する
- 研究や学びのネットワークを形成し、総合的に取組を推進するための連携のコーディネート機能を担う

目指す姿を役割として、諏訪湖環境研究センター設置

R6年4月、4つを業務の柱にし諏訪湖環境研究センター始動

調査・研究

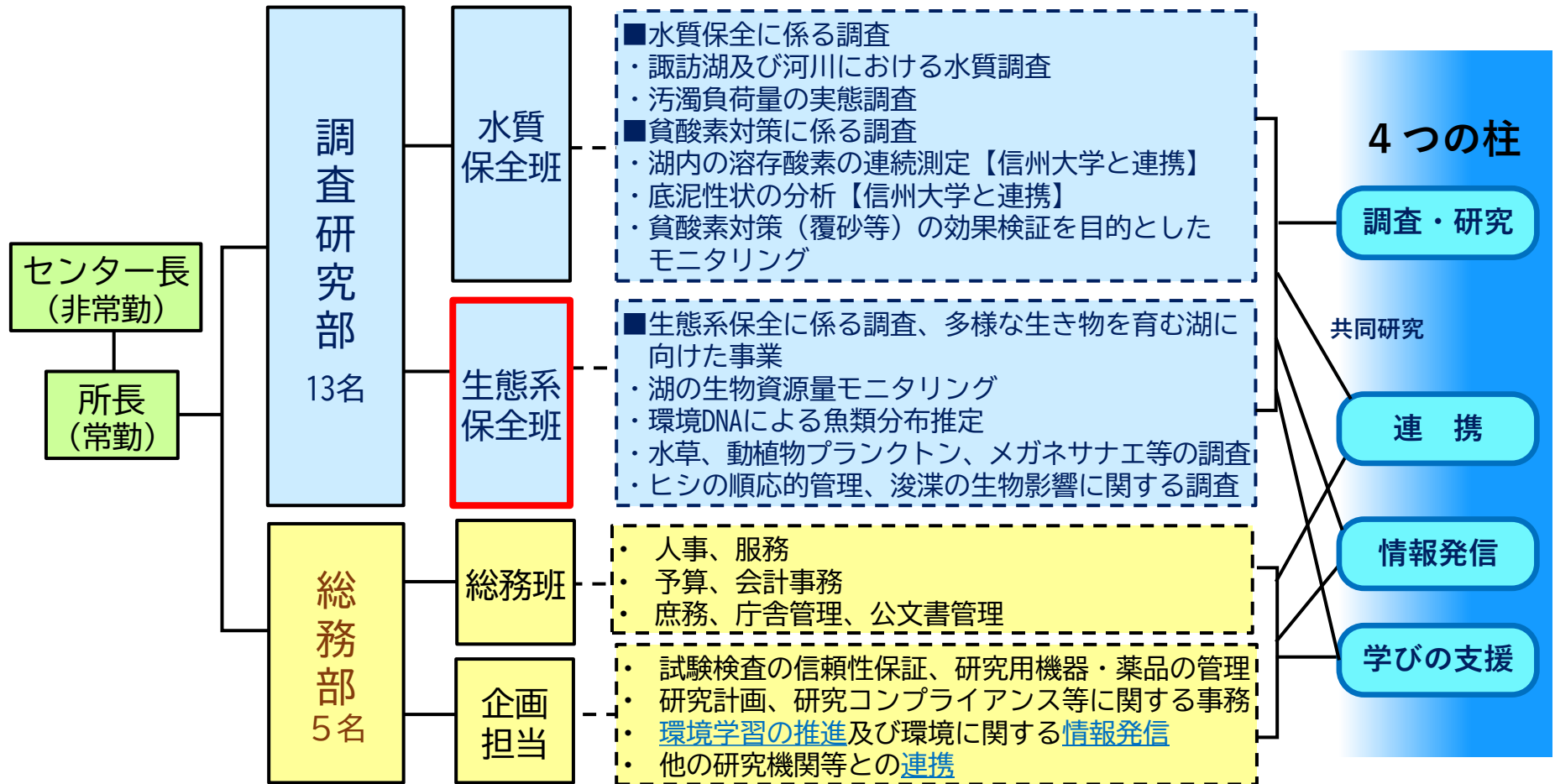
情報発信

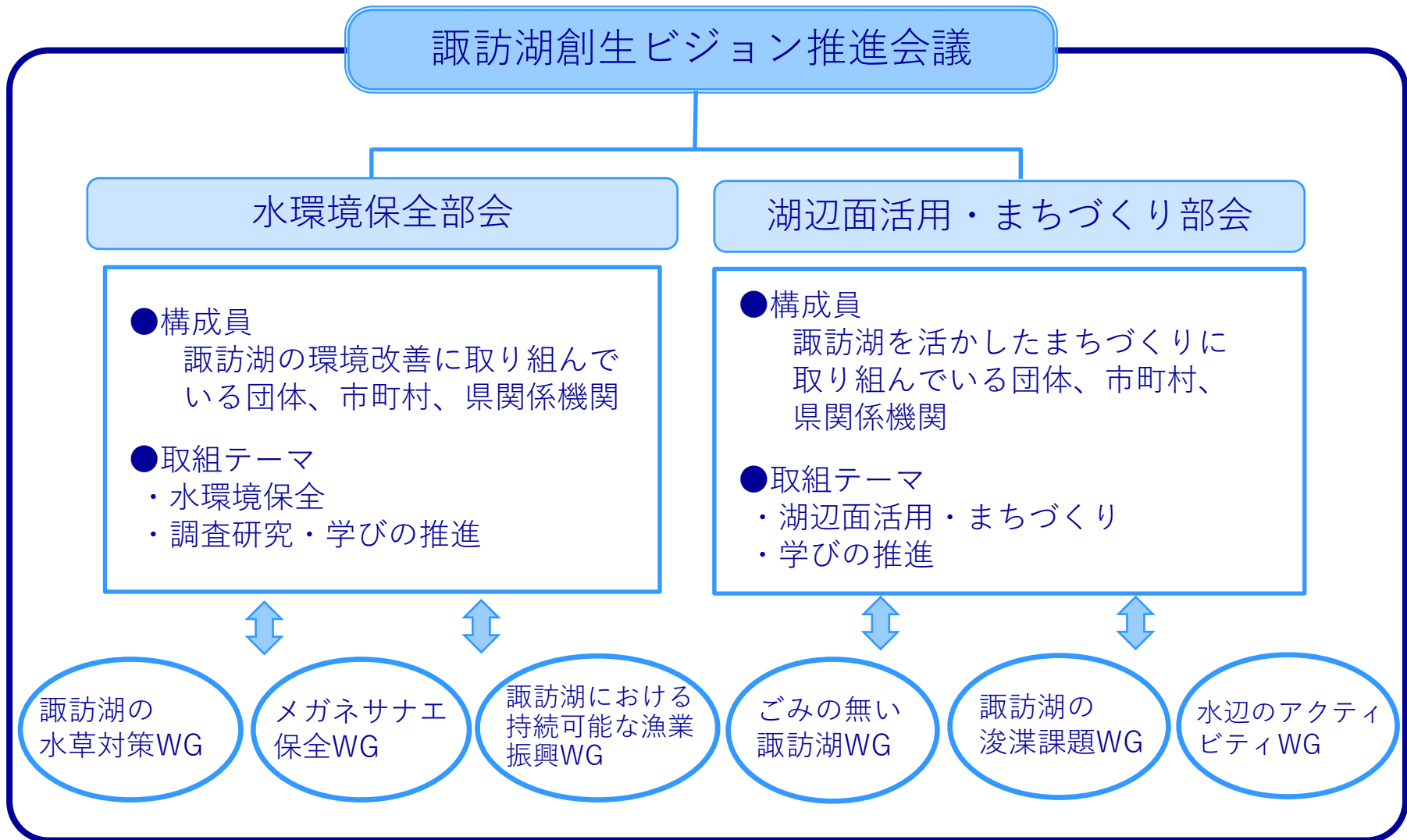
学びの支援

連携

# 組織体制と主な業務

諏訪湖など県内河川・湖沼の水質と生態系の課題解決に向け、水質及び生態系の一体的な調査研究を強力に進め、**生態系を含めた水環境の適正バランス**を目指す





- ▶ 当センターは諏訪湖創生ビジョン推進会議の構成員として、上記の推進会議・部会・WGへ積極的に参画
- ▶ 情報収集及び発信を行うとともに、センターの調査研究から得られた成果を行政施策のエビデンスとして反映